



高橋浩樹 議員

町民の不安の声に
対する対策は

高橋浩樹議員 不審な行為をする者がいて、不安だという声を聞いた。町は認識し対応策を講じているのか。

五十嵐町民税務課長 わが町は、県内でも刑法犯認知件数の少ない自治体であり、安全に生活できる町のひとつである。しかし、だれもが犯罪に巻き込まれる危険性があることは否定できない社会環境にあり、安全で安心して生活できる地域を創るため、関係機関、団体の協力のもとに、家

不審な行為に不安の声、防犯対策が必要だ!!

回答 不安のないよう対応を取っていききたい

町民税務課長 防犯灯の灯具は、要望がある各地区へ器具を無償で交付する形式をとっている。当初は、防犯灯がないことで、暗くて危険な箇所を優先に設置してきたため、灯具等の光源に適合した設置間隔を取るに至らなかったものと思われる。

防犯灯照度基準は

高橋議員



早朝の役場前 七日町とおり

この事に付随して、町内の防犯灯が老朽化により照度が低下し、町なか暗い事が要因になっていないかという指摘を頂いたが、照度基準は適合しているのか。

防犯灯の早期整備を

高橋議員

各地区からの要望があった場合に、対応するということが、犯罪が起これば、その対応では遅いのではないかと。

町民税務課長 指摘のあった通りの灯具更新については、各地区と相談させて頂き、要望等による整備について

町民税務課長

は、出来る限り年度内対応に努めていく。

町長 暗いところは、防犯灯を設置してはどう

かという呼びかけをしていくが、例えば、電柱が無い場所について



きごころ橋へつづく十日町とおり

取り付けという場合も考えられるため、担当課、防犯協会の方と状況を確認し、ご協力頂きながら不安のないように対応していきたい。

高橋議員 不審な行為

を繰り返す者がいて、非常に不安だと言う町民の声に対して、防犯灯の効果がある程度あるのかわからないが、安全で安心して生活するため早い対応を望む。

区長・消防団団員に 災害情報のメール配信を

回答 現在の最上広域消防との連携では難しい



中村忠行 議員

町内放送の
メール配信を

中村忠行議員 平成21年度策定「金山町情報化計画」の「防災における情報化」「地域情報化の実現に向けて」の進捗状況は

佐藤総務課長 行政放送やJアラート、最上広域消防本部との連携による情報提供をしている。部長以上の消防団員には火災状況メール配信を災害時には「エリアメール」を活用した災害情報を行えるようにしている。災害時の安否確認が行えるよう双方向通信整備



春季消防演習 (4月29日)

町長 最上広域との協定によるメール配信は、金山への割り当ては900である。同時大量メール配信を行うと、迷惑メールと誤認され、サーバーがシャットダウンするので、対応は消防団幹部の方々と検討する。なお、「お知らせ版」「広報」

とあわせ、テレビのデータ放送で「金山町からのお知らせ」を見る

ことが出来るので活用したい。さらに、防災のための、あらゆる方策を行っていく。

医療分野の情報化

による連携状況は

中村議員 健康・医療・福祉における情報化

の現状と推進方策は

岸健康福祉課長 町の各分野ではシステム化・データベース化されているが、厚生省のIT戦略では、セキュリティやコストの問題で目標には達していない。

柴田診療所事務長 X線画像は山医大医学部に繋がれており、大学の先生にも読影をお願いしている。平成25年から「もがみネット」に接続され、県立新庄病院で撮影された画像を診療所で閲覧できる。医療の情報化は日々発展しているが、システム導入には、高額な費用負担を伴うので理解をお願いする。

ホームページを活用した行政サービス向上を

中村議員 町民が



区長会議 (5月1日)